

科目名		授業形態	担当教員名	
医学概論		講義	三木 明德・平松 邦夫・杉江 英理子 谷口 和寛	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
生とは何か？死とは何か？生や死は医学・医療に携わる私たちにとって非常に身近な問題であり、これを避けて通ることはできない。しかし、医療職者になるために今学んでいる医学・医療が扱うのは生命現象であり、生とか死は哲学や宗教の問題である。この科目では、これまでほとんど気に留めてこなかった生や死を、哲学や宗教を含む様々な方向から考え、自分なりの答えを見つけるのが目的である。				
授業の到達目標				
①ヒトの生や死について、宗教や哲学がどのように捉えているかを理解する。 ②医療職者に必要な生命倫理や医療倫理を理解する。 ③生命の不思議や人体の不思議に気づき、生や死の尊厳を理解する。 ④社会人として、医療人としてどう生きていくべきかを自分なりに考える。				
授業計画				
回	内容			
1	医学概論 総論 頭部 聴覚器			
2	筋・骨格 循環器			
3	内分泌 消化器			
4	臓器移植について			
5	角膜移植について			
6	生命の誕生			
7	ヒトはなぜ死ぬのか？			
8	生と死を支える			
9	視覚器の解剖生理学			
10	眼科疾患の病態生理学			
11	肉眼解剖学実習見学のガイダンス			
12	脳と心			
13	人体の不思議			
14	医療倫理と生命倫理			
15	よい社会人、良い医療人をめざして			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート	100%	最終回の討論会を参考にして、これから自分が目指す社会人像、医療人像をまとめてレポートを書く。		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載		この問題に正解はない。これから自分なりの答えを探していくことが大切である。		
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載	本科目用に作成したパワーポイントで話題を提供する。			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
備考				